

## 授業科目

## 救急救命臨床思考演習

|                                       |      |    |       |    |
|---------------------------------------|------|----|-------|----|
| 担当教員名<br>山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 | 対象学年 | 3  | 対象学科  | 救急 |
|                                       | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
|                                       | 単位数  | 1  | 時間数   | 30 |

## ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎     | ◎     | ◎     | ◎  | ◎     |

## 授業の概要

救急車同乗や医療機関における臨床実習は、単に見学、体験するのではなく、学習した内容と実際に起きている事象を結びつけることにより、学習した内容を情報から知識へと発展させる重要な学びである。臨床実習を効果的なものとするためには、学ぶ視点と思考をまとめる方策を理解した上で実習に臨むことが重要である。

本科目では、臨床実習の実施に先立ち、臨床実習のあり方を演習形式で学習する。

## 授業の目的

臨床実習のあり方を理解する。

## 学習目標

1. 臨床実習において、救急救命士としての視点で学ぶための考え方を理解する。
2. 実習において学んだ内容を振り返り、現場で発生した事象をひも解き適切な活動のあり方を導く為の思考を形成する。

## 授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題           | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員                           |
|----|----------------------|--------------|--------------------------------|
| 1  | オリエンテーション            | 演習           | 山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他 |
| 2  | 疑似症例検討およびレポート作成演習(1) | 演習           | 山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他 |
| 3  | 疑似症例検討およびレポート作成演習(2) | 演習           | 山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他 |
| 4  | 疑似症例検討およびレポート作成演習(3) | 演習           | 山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他 |
| 5  | 疑似症例検討およびレポート作成演習(4) | 演習           | 山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他 |
| 6  | 疑似症例検討およびレポート作成演習(5) | 演習           | 山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他 |
| 7  | 疑似症例検討およびレポート作成演習(6) | 演習           | 山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他 |
| 8  | 救急救命臨床思考演習まとめ        | 演習           | 山内 一、竹井 豊、神藏 貴久、大松 健太郎、安達 哲浩 他 |

## 使用図書

| 使用図書   | 書名                   | 著者名              | 発行所   | 発行年   | 価格      | その他    |
|--------|----------------------|------------------|-------|-------|---------|--------|
| 教科書    | 改訂第9版 救急救命士標準テキスト 上巻 | 救急救命士標準テキスト編集委員会 | へるす出版 | 2015年 | 10,584円 | 1年次購入済 |
|        | 改訂第9版 救急救命士標準テキスト 下巻 | 救急救命士標準テキスト編集委員会 | へるす出版 | 2015年 | 10,584円 | 1年次購入済 |
| 参考書    |                      |                  |       |       |         |        |
| その他の資料 |                      |                  |       |       |         |        |

## 評価方法

1. 科目試験はレポート形式により、下記をもって合格とする。
  - (1) 期限内に必要な数(別途提示)を提出すること。
  - (2) 症例検討(別途提示)にて発表すること。
2. 科目試験が不合格であった場合は、再実習を行い、1.に挙げた要項をもって再判定する。

### **履修上の留意点**

以下に挙げる場合は、科目試験の判定を放棄したものとみなす。

1. 病気、怪我などの身体的理由（要診断書）または適正な理由（要担当教員許可）が無く欠席または遅刻をした場合。
2. 授業態度不良と判断された場合。

### **オフィスアワー・連絡先**

授業開始時に担当教員より連絡する。